

てらさきともよし
寺崎 友芳

経済学部 教授
博士(経済学)/埼玉大学
修士(経済学)/東京大学
社会連携センター長

ホームページ URL
<http://www.cc.kyoto-su.ac.jp/terasaki/index-j.html>

主な研究業績

- 「綾部市産業連関表作成とあやべ水無月まつり花火大会経済波及効果の試算」(共著), 『京都産業大学経済学レビュー』, No.7 (2020年3月)
- 「ノンサーベイ法による小地域産業連関表の作成と誤差の測定—宮津市産業連関表を用いた生産波及効果の事例—」, 『京都産業大学経済学レビュー』, No. 5 (2018年3月)
- 「革新する保守」, 扶桑社新書 (2015年5月)
- 「預貸率は地域経済に影響を与えるか」, 『季刊個人金融』, 2015年春号, ゆうちよ財団 (2015年4月)
- 「地域銀行の貸出行動—地域経済と銀行政策・経営戦略—」, 『金融構造研究』, 第36号, 全国地方銀行協会 (2014年5月)
- 「地域銀行の貸出行動—パネルデータによる分析—」, 東京図書出版 (2012年10月)

研究テーマ Research theme

集客イベント・集客施設の
地域内への経済波及効果の推計

概要 Overview

当研究室では、花火大会や地域の祭りなど各種集客イベントや集客施設の開設が当該地域にもたらす経済波及効果の推計について共同研究または受託研究を承っております。

集客イベントや集客施設がもたらす経済波及効果を、①直接効果(域内で発生した新規需要)、②一次波及効果(直接効果による需要追加によって域内事業者の売上が増加し、中間投入物の域内需要が増え、他の産業の域内での財・サービスの生産に影響を与える効果)、③二次波及効果(①と②の効果により、雇用者所得が増えて域内消費が増加することで域内の財・サービスの生産に影響を与える効果)の3つに分けて推計します。①の直接効果はイベント当日にシルバー人材センターなどを活用して参加者に地域内での消費額について項目別にアンケート調査を実施し、参加者1人あたりの項目別域内消費額を調査します。集客数については原則として公表数値を利用します。②の一次波及効果と③の二次波及効果は、都道府県レベルであれば各都道府県が公表している産業連関表を基に推計し、市町村レベルであれば、当研究室でノンサーベイ法によって市町村産業連関表を作成し、それを基に推計します。

経済波及効果の推計は、様々なシンクタンクで行っておりますが、当研究室の経済波及効果の推計の特徴は、域内の居住者の消費増によってもたらされた経済波及効果と域外の居住者の消費増によってもたらされた経済波及効果を区別して推計する点にあります。前者によってもたらされた経済波及効果は、当該イベントで消費した金額分だけ域内での他の消費を節約する可能性が排除できない一方、後者によってもたらされた経済波及効果は他の域内消費にマイナスの影響を与えないため、当該集約イベントや集客施設が域外から稼いだ成果と捉えることができます。

各種イベントや集客施設開設の経済波及効果の費用対効果についてご関心がございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

応用分野 Application areas

費用対効果の測定、地方創生・まちづくり等に関連する講演・講師

共同研究等へのニーズ Need for joint research

経済波及効果に関心のある集客イベントの実施主体や集客施設の開設者、またはそのスポンサー、シンクタンク等との共同研究、受託研究、研究助成寄付金を承っております